
1 ハッピーメール

東雲咲夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

1 ハッピーメール

【Nコード】

N9587K

【作者名】

東雲咲夜

【あらすじ】

「1ハッピーメール」

皆様のもとへとお届けになりましたこのメール、読んでみてください。

少しの好奇心と興味があれば、必ず1ハッピーになれます。

(前書き)

さらさらっと書いた、SSです。

インターネットを毎日利用していると、見知らぬ人からメールが届くことがある。それはショッピングであったり、出会い系サイト、ウィルスメールや迷惑メール。登録もしていないのに勝手にメールマガジンが配信されているときもある。一日に何百通と届くこともある。どう見ても怪しいものから、興味をそそられるものまで。その日私の元へと届いた一通のメールは、後者のほうだった。

『1ハッピーメール』

みなさま初めまして、1ハッピーメールです。

このメールは、あなたに1ハッピーをお届けするためのものとなっています。

特別に必要な物も、お金も必要ありません。あなたさえよろしければいいのです。

あなたのお時間をいただくかわりに、1ハッピーをお届けいたします。

毎日が退屈だと感じている方、刺激が足りないと飢えている方、ただ純粹に興味がある方。

当メールはどんな方でも歓迎いたします。

1ハッピーを手に入れたい方は、下の住所の方までお越しください。その後は担当員がご案内いたします。

上のような文章に続いて、住所が書かれていた。恐らくは向かうべき場所のものだろう。

はじめは、どこにでもありそうなメールだと思った。

見知らぬ送信者に、うさんくさいメール。そんなものは毎日既にかくさん届いている。唯一興味をひかれた部分といえば、特に物が必要ではないというところだった。大抵は巨額の資金、前もって準備するものなどがあるのに、このメールにはそれがいらないと記されている。必要な物は、メールを受け取った人の了解だけでいいのだと。そうして向かった先にはいったいどんなものがあるのか

私は、それを知りたいと思った。私はごく普通のサラリーマンで、もう三十をすぎているというのに独身。上司には日々無理な仕事を任され、昇進も見込めそうにはない。失うものがない、というのは大げさになってしまふけれど、特別失いたくないというものもない。自分の身は大切だが、死にたくはない、長生きしたいという願望も特にない。そんな、ない物尽くしの私の人生。

たとえ何が起こっても自分がよしとしたことならば、問題ないのではないだろうか

そうした考えがメールを読んだ私の中にむくむくと首をもたげてくる。ひどく自己中心的な考えだとは思ったが、そういう風に思ってしまったものは仕方がない。指定されている場所へと行ってみようと思つた。

もう一度よくメールを読んでいると、住所の書かれているところから下へとまだメールは続いていた。

さて、１ハッピーを手に入れる準備はできましたか？ できましたなら、ここで簡単なクイズをひとつ。

聡明なあなたならば簡単に答えはわかるはずです。もちろん、面倒くさいという方は飛ばして構いません。

すぐに住所の場所へと向かってください。くだらないクイズに付き合っていただけという方は、スクロールを。

その文をみて、いったいどんなクイズだろうという興味も一瞬はわいた。しかし、私はクイズをやっている時間があるのならば、住所の場所へと向かってみたいという欲求の方が勝っていた。だから、メールの続きを見ることはせずに住所だけをメモし、パソコンの電源を切った。そうして私はメモを持って、家を出た。

いったいどんなことが待っているのか……私はただそれだけを考えていた。

それでは、クイズです。ひどく簡単でくだらない問題ですから、心配はいりません。

では問題です。

1 2 3……これらの数字をフランス語ではなんというでしょう？

聡明なあなたならば、おわかりでしょう。

数字の意味を理解されてもなお向かいますか？

それでは 素敵な時間をすごすことができますよう。

（後書き）

はい、お読みいただきありがとうございました。

前々からネタ帳にメモってあったものを、やっとこさ書き起こしてみしました。まあ、アレです、迷惑メールみたいなものです。好奇心、猫をも殺す、です。

ちなみに、東雲の場合、住所の場所が近場なら、行く可能性大です……

それでは、お疲れ様でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9587k/>

1ハッピーメール

2010年10月14日10時19分発行